

高校生の意見（団体意見）についての委員会コメント

北広島西高等学校の生徒の皆さんから提出された意見につきましては、いじめや差別等に対して、一人ひとりの皆さんがどのように感じ、どのようにしたらなくせると考えているのか、高校生の生の声を知ることができ感謝しております。

意見を読んでいきますと、ほとんどの皆さんがいじめはあってはならないという意識を持っていること、いじめや差別をなくするためにすべきことについて、しっかりとした問題意識を持ち、真剣に考え、自分の意見を書いたことが分かります。

大人は、子どもを差別や暴力から守り、子どもと誠実に向き合い、子どもの思いを受けとめ、ともに考え、支えていく責任があります。

子どもの権利条例検討委員会は、子どもを取り巻く環境がより良くなることを期待しています。しかし、そのためには大人の意識改革だけでなく、子ども同士がお互いを理解することも大切であると考えます。

今回の意見提出が、自分の力で社会の問題を積極的に考えるきっかけとなり、そうした経験の積み重ねを通して、皆さんが成長し、互いに尊重し合う力を身につけてくれることを期待します。